

プレスリリース

インテグリス、アジア地域に製造施設を拡充した 高純度ガス精製システムプラットフォームを発表

新しいメディアの採用により先進の半導体、LED アプリケーションに
歩留まりの向上を実現

BILLERICA, Massachusetts - 2016年2月7日 -特殊化学品および先端材料ハンドリング分野で世界をリードする、米国インテグリス社([Entegris Inc.](http://Entegris.Inc)、Nasdaq: ENTG)は、本日、半導体、LED アプリケーション向けにウェーハの歩留まり向上を実現する新しい先進的なガス精製システムプラットフォームを発表しました。この新しい GateKeeper® (ゲートキーパー)ガス精製システム(GPS) シリーズは、新たな精製メディアの採用によって幅広い流量で最高水準のガス精製を実現し、さらに設置面積も小さくなっています。インテグリスは現在、韓国に製造施設を拡充し、北米、アジアの両地域でゲートキーパーGPS の製造を行っています。

インテグリスのマイクロコンタミネーションコントロール事業部門のシニアバイスプレジデント、Clint Haris は、「私たちのお客様は、ますます複雑化する最先端デバイスを効率的に製造するために、かつてないほど汚染制御の課題に直面しています。新しいゲートキーパーGPS シリーズは、このような製造環境で歩留まりの向上を最大化するために求められているソリューションです。インテグリスではこのような新しい技術の導入に加え、北米とアジアの製造施設に引き続き投資を行い、世界規模のサービスと製造をさらに発展させていきます」と述べています。

最先端のテクノロジーノードの半導体プロセスや LED 製造においては、プロセスガスから製品不良の原因となりうる汚染物質を除去する優れた清浄レベルの実現が強く求められています。ゲートキーパーGPS シリーズは、ガス流体からさまざまな汚染物質を ppt (1 兆分の 1) レベルまで取り除き、さらに幅広い流量への対応が可能で、クリーンドライエア(CDA)、N₂、H₂、H₂ (EUV 分野)、Ar、NH₃などを精製します。また、半導体、LED メーカーはサブファブの床面積を極力節減する、小さなシステムを求めています。設置面積の縮小により、お客様は貴重なサブファブの床面積をその他の装置に割くことができ、その他のシステムと組み合わせて清浄レベルを引き上げることもできます。

- 次ページに続く -

インテグリスのガス精製製品管理事業部門ディレクター、Jordan Ruple は「私たちはお客様の求める清浄レベルを把握するために密接に協力を行っています。新たな汚染物質を取り除くだけでなく、既知の汚染物質に対してもより効力を発揮する性能が求められています。このような協力の結果、このレベルまで清浄レベルを発揮し、さまざまなガスに対応して流量も最適化できるシステムをこのサイズでご提供できることを大変喜ばしく思います」と述べています。

最新のゲートキーパーシステムは、SEMICON® Korea (2017年2月8～10日)でも展示が行われます。さらに詳しい情報につきましては、会場でインテグリスブース(ホールD、ブース5504)にお立ち寄りいただくか、インテグリスの担当者にお問い合わせください。また、弊社[ウェブサイト](#)でも、ご覧いただけます。

インテグリス社について

インテグリス社は半導体およびその他のハイテク産業で使用される特殊化学品や先端材料ソリューションを提供している世界有数のサプライヤーです。インテグリスはISO-9001認証を取得しており、米国、中国、フランス、ドイツ、イスラエル、日本、マレーシア、シンガポール、韓国、台湾に製造工場、カスタマーサービスセンター、研究施設を構えています。さらに詳しい情報については、www.entegris.comをご覧ください。

以上

メディア窓口:
Ina Chu
Impress Labs
T: +1 217 766 1011
ina@impresslabs.com